



2023.6.22 (木)
第 45 回例会
(通算3714回)

2022-2023 年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「創り出そう身近な奉仕を 友情、愛情 そして熱意で」

第85代会長 滝越 康雄
副会長 清水 輝彦
幹事 中島 政徳
編集責任者 クラブ会報・雑誌委員会

例会日 毎週木曜日 12:30 ~ 13:30 夜間例会 18:00
例会場 釧路センチュリーキャッスルホテル
事務局 釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
 0154-24-0860  0154-24-0411

2022-2023 年度
国際ロータリーテーマ



2022-2023 年度
R1会長 ジェニファー・ジョーンズ
第 2500 地区ガバナー
久木 佐知子 (旭川西 RC)

月間テーマ	ロータリー親睦活動月間
本日のプログラム	「1 年間を振り返って (三役・四大委員長)」(理事会)
次週例会	「キャンドルパーティー」(親睦活動委員会)

- ロータリーソング：それでこそロータリー
- ソングリーダー：小林 裕介君
- 会員数 99 名
- ビジター なし
- ゲスト なし

会長の時間

滝越 康雄会長



こんにちは。お食事
中の方はお続けくだ
さい。

私の事業年度も予定
されていた事業はお
蔭さまですべて終了
しました。私の仕事

は皆さんご存じのように保険という突発相手の仕事、これは宿命なのです。ロータリーにおいても 5 月に入ってから異常事態や前例なきことが続いておりまして、これを納めて新年度にバトンタッチしたいと思っております。皆さまにはご負担をかけますけれど最後までよろしくお願いいたします。

今日の会長挨拶は実を言いますと、次年度の佐渡ガバナー補佐にお越しいただいた例会の時の原稿が清水パストガバナーの追悼の原稿に代わりましたので、その時の原稿をご披露します。

ロータリーにはいろいろな側面があります。主に、親睦と奉仕をテーマにしていますけれども、私の個人的な意見としてお聞きいただければと思います。退会覚悟の命がけの発言で、持論ですのでよろしくお願いいたします。

奉仕というものの意味が時代とともに変わってきていると思います。従来は、こちらから団体や個人へ対するお金であれ、物であれ、資金を用意しての贈与だっ

たのですけれども、昨今、街の情勢など全般的にみると、一般市民は経済活動で街を支えることを期待しているようなことを時々耳にします。それが私たちの使命でもあり、このクラブの在籍者は経済人ですので、街を支えている人です。屋台骨を支えるという期待感覚、それに応えることが今流の職業奉仕ではないかと思っております。

ところで、これに絡めてさらに進めていきますけれども、私なりに、第 2500 地区の課題として区割の変更があったら良いのではないかと思います。

というのは、誰がこの 2500 地区の北海道という形のケーキを縦に切ったのか、この不便さを私も痛いほど体験しています。『地区大会』で皆さんが無理をして来たり帰ったり、いわゆる早く帰ったり、もしくは食べ残しの弁当だ、食材だ、といろいろ見ていました。私は昔、地区の役員をやって冬場に「旭川へ行くことになり、車で行く」と言ったら家族が猛反対しました。そのような体験しております。道北が開催地になると三役の悩みの種で、地区の区割の関係が道北と一緒にということは、道北は人間関係もそう親密ではないと思っております。経済交流・私的關係であまり接点がないような気がしております。

歴史で言うと、交流は南北では動かない。東西で動くことが常識というような、シルクロードを始め全部が東西で動くものなのです。

私は、今年の会長方針のテーマで地政学ということ

を言いました。街を活性するという意味で入れましたけれども、まさに釧路・帯広・札幌南部という組み合わせになれば最高だという思いであります。漁業と農業と大都会と異なる地域と交流した方がとても良い訳で、主な経済人が西の方に向かえばいいと思っています。北へ向かっても何だか分からないけれど、そう接点がないし、実らないというような気がいたします。これからは、釧路地域もこのような経済状況ですので、札幌圏との交流は街にとって不利にはならないと思います。

この原稿を用意していたら、最近千歳のラピダス1本じゃないですか。半導体の本も読みますけれども、「現代の石油」ということで車から電化製品から全部が半導体なので、これは「国際子会社で5兆円の投資」と記載されております。そのようなことで、風が西から吹き込んで来るのに吹き込みを入れないともったいない気がしております。

私も高速道路に乗りますけれど、いまでも北広島ー釧路間は3時間30分でピタッと着きます。今、帯広ー札幌間の4車線化工事が始まっています。10分〜20分縮まるだけではないと思います。そうすると3時間を切るのです、ビジネスでも交流が深まる。ましてや、ロータリーも札幌圏との交流を時間軸で考えた場合、向こうの経済人ともっと接点があれば企業誘致にもつながる。

要するに、北へ向かうのではなく、西へ向かう第7分区・第6分区のような見方を自分だけでイメージをしています。間違いではないと思って、先々週の佐渡ガバナーノミニーの時にお話しようと思っていましたけれども機会を失ったので、今日の会長挨拶に代えて私の意見を述べました。

ご静聴ありがとうございました。

退会挨拶

NHK釧路放送局 小野 正晴局長

皆さん、こんにちは。NHKの小野です。明日付で異動になり、東京へ戻ることになりました。こちらへ来たのがちょうど3年前で、この歴史と伝統ある釧路クラブに入れていただきまして、本当に楽しい思い出がたくさんできました。



中でも『転勤者フォーラム』の時は、盛んに会社の悪口を言ってしまう、もっと早くこの局長の任を解かれるのではないかとヒヤヒヤしましたけれども、地方の局長は長くても3年ということで、丸3年になりましたので今年もう仕方がない気持ちでおりましたら、

やはり今回異動となりました。

ちょうど3年間は、コロナと丸かぶりになり、夜の活動などが制限されたことがありましたが、ロータリークラブの皆さまに温かく迎えられ、親しくしていただき、楽しい釧路生活を送ることができました。皆さんはご存じだと思いますけれど「釧路に転勤だと言われて、3回泣く」。最初は「釧路に転勤だ」と言われて「え、何で釧路なの」と思って泣いて、次は実際に北大通の辺りに立って「このシャッター商店街は何だ」と思ってまた泣いて、3回目は釧路を離れる時に「離れがたくなって」ホントに泣く、と。私は全くそのとおりでありまして、いろいろな人とのつながりやこの釧路・道東の大自然が本当に大好きになりまして、釧路から離れたくないという心境です。

家内のハードルが高いのですけれど、私の仕事がついつい日か落ちていたら、ぜひとも釧路に何らかの形で戻って来たいと思っておりますので、杉村パスト会長、何か良い物件がありましたらご紹介いただければと思います。

私はこのタイミングでNHKの本体を退職となりまして、今度はNHK財団という関連団体に再就職となります。どのような仕事をするかと言いますと、視聴者の方々から様々な厳しいご意見、また「NHKは職員が逮捕されたのか」とか、今回は受信料が値下げになりますけれども「NHKの不祥事はどうなっているの」みたいな厳しいご意見を集約して本体に伝えて、本体の業務に役立てることが仕事です。

後任は、いま帯広の副局長をしている者が明日付で昇格して釧路の局長として参ります。相撲取りのような感じの男ですけれども、そこに愛嬌のある良い男ですので、また、私と同様に仲良くしていただければと思います。

本当に3年間、どうもありがとうございました。

■本日のプログラム■ 一年間を振り返って（三役・四大委員長）

滝越 康雄会長



再登場ですみません。ボロボロ内閣で申し訳ございません。いまは転勤時期で出入りもあり、会場内も人数が少ないです。

『1年を振り返って』ということですが、私は、来週には会長ノミニーを発表しなければなりません。いま現在、振り返る段階ではなく現在進行形でございます。まだ大仕事が残っておりますので、頑張りたいと思います。

私は、この会長職を舟木パスト会長から受けました。その時の様子といえば「うなぎを食う」などではなく電話1本です。いきなり電話が来て、どちらかという捨てゼリフの「分かった！」というアクセントで、受諾は電話でした。

1週間に3回は舟木コーヒーを飲む仲ですので、負っているものはとても大きく、断れない、追い詰められた状況です。家に帰っても、大それた役を受けた訳ですから、ウチの妻に言わなければいけないのですけれども、告白としてはプロポーズ以来で言いにくくて会長を受けるということは1回も言っていません。周りで、FAXが流れてきて自然に女の子に伝わって、ガヤガヤ騒ぎ出して、問い詰められたこともないですし、会長を受けると家の中で改めて言った記憶はありません。

元来、私は性格的に孤立。年代も孤立している。ましてや歳からいったら賞味期限が完全に切れていますから、このウケない男がどのような波を乗り切るか。だいたい組織が動いてくれるかどうかということで悶々とした記憶がございます。

コロナの影響が懸念されましたけれども、おかげさまで例会を休むことなく、そのような暗さを払拭して1年を乗り切ったと思っています。そして、乗り切ることが今年の第1目標だったので、その分においては結果を得たと思っています。

会長職というものは、クラブの例会・第7分区・2500地区・関連団体といろいろありまして、いろいろなスケジュールが入ってくるので、体を持って行くだけで精一杯でした。組織の中では、行事を行うごとに何人集まるか。外行事の心配では動員と天気が絡みますので、これが気になって心配ばかりしていました。私はおかげさまでいたい天気を晴らすことができます。ゴルフ大会は関係なく大雨でしたけれども、最後にアサリ採りは天気に恵まれて素敵な行事でした。

私もロータリーは長いけれど、あまり個別の行事をよく知っている訳ではありません。『野球大会』には1回も携わったことがなく、分区の会合に出席していたら、ガバナー補佐が「スケジュールで・・・」、個人名を出しますけれど、北クラブ中島谷会長は良い体格をしていますけれども「肩が・・・」と言って、最終的に私のはめられてしまいました。その野球大会の練習ではかなり苦労しました。バッティングセンターへ行って3mも球が飛びません。ある所の壁に球をぶつけ続けて1カ月間練習しました。本番では18.44m、きちんと手前ワンバウンドで。全道大会ですから皆さんが見ていますからここ一番というところで、あれだけが記憶に残っていて、辛かったですけれども自分で大きな体験をしました。

「1年を振り返る」ということでは、ここの行事は後ほど各委員長さんの報告ですけれども、私はこの壇上

がとても苦手で、すごくストレスです。家に帰ってからも心理的にきつくてトラウマになっておりました。家に帰っても、心の傷を癒やすのに心にサロンパス、そして消毒剤をつけて、でも、うまくできていて1週間で傷は癒えるもので、それが忘れられるという1週間で体験しております。

先日、コメディアンの出川哲朗さんが良い言葉を言っていました。「このような壇上で人目につく所に立つことは、恥をかくことが前提ですから、ひとつの公開処刑」と。私はその言葉にピッタリだと思いました。壇上に上がって、帰ってから皆さんがどのように見るかを想像したら、あまりいい感じはしていません。私はロータリーの会長職はもちろん初めてですが、いろいろな委員会を歩いてきてやはり現場の委員長が一番面白いですね。会長職というのは意外と権限はありません、この挨拶ぐらいで。まさか、会報委員会に「こうすれ・あすれ」とか言える訳ないじゃないですか。プログラムでも、思う存分ビデオ作成などを熱っぽく行って。このような組織の上というのは孤独で、好きにできないことが多いということが分かって、いい体験をしました。

その中でも、なんと言っても命綱の中島幹事がおります。ただ、中島幹事はお仕事柄から菓子職人さんで頑固です。ですから私が10を言うと、最近では2~3ぐらいしか通してくれません。以前はスカスカと言えましたけれど、段々2~3。私と幹事の仲は良いですけれど、言うことは聞いてくれない。その中で逃げ場所が清水副会長でした。清水副会長は精神カウンセラーですから「ハイ・ハイ」ととても優しく、清水副会長にはずいぶん癒やされました。パーティションが邪魔で、もっと話したかったのですけれど、私が自分を維持できたのは清水副会長の優しさ。やっぱり診断を受けようと思っていましたが、その機会がなくなってしまいました。

とにかく、何もしていませんがきつい1年でございました。多分、降壇して後ほど中島幹事から不適切発言をチクリとやられるので、まず心は無傷で帰ったことはありません。

この1年間、自分の名前をマイクで呼ばれる。駅に行けば電光掲示板に載る。いろいろな所で「滝越」「滝越」と固有名詞ばかりで呼ばれて、もう私は佐藤か田中の方がよっぽど良かったと思っています。とにかくそのような状況でした。

また、この任期が終わってからは理事席には座りませんが、どこかの席に座りますけれども、この席を日本列島になぞらえたら行きたい所は沖縄です。その後は八丈島か、流れ流れて沖の島か、行ってはいけない択捉島か。行けないですね。私の落ち着き先をしばらく探しますので、受け入れをよろしくお願ひします。

7月から過去の人になりますが、死んだ人間ではござ

いませんのでよろしくお願ひします。

以上で、会長挨拶を終わります。

中島 徳政幹事



幹事の中島です。大変やりづらひ感じですね。お口直しと言つては何ですが、まず清水輝彦先生の奥様から今週お手紙をいただきました。

先生の現状のご容体などが書かれております。1年間を振り返つてという趣旨とは少し違ひますが、ぜひここで読ませていただきたいと思います。

(清水輝彦副会長の奥様からの手紙を中島幹事が代読)
※個人情報的内容なので割愛させていただきます。

暗くなつた状態から自分の1年間を振り返つて喋らなければいけなくなりますが、先ほど滝越会長が言ひましたとおり、滝越会長は最初から無謀なお金を使うことをボンボン言われまされたので、「それは無理です。最初からそんなに振れませぬ」という話をたくさんしたものですから、多分、自分の意見は通らなひと思つていらつしやつたと思ひます。「生のハーブを入れて演奏をやろう」や「それだけでいいから例会を作れ」など、いろいろなことを言われまされたが、なかなか難しいですよ。幹事を経験の皆さん分かりますよね。そのうち、会長の時間が終わると、必ず「今日の僕の話はどうだつた」と聞かれた方がたくさんいらつしやつたのではないかと思ひます。私はそのせいか、体重が3kg～4kg増えて、血圧も若干高め、コマーシャルの所を超えそうな勢ひになっております。来週からは、大人しく行きたいと思つております。

最後にまた、インボイス星人をやつつけなければいけない宇宙船に乗らしいので、ホットケーキを作らせられないように頑張つていきたいと思つております。

本当に1年間、皆さまには大変ご協力をいただきありがとうございました。私が言いやすいのか、いろいろな形で、いろいろなことを言つていただきました。納得した部分もあります。心の中で「この野郎」と思つていたこともあります。何とか1年間をもうすぐ終わらせていただけることでホツとしております。この後はパスト幹事として、知らない顔をしてコソコソいきたいと思つております。

唯一、ロータリーの勉強はあまりできませんでしたが、この歳になって初めて、来週も出席すれば「100%例会出席」が成り立ちます。出席率も260何%というすごい状態になっているので多分、来年1年間は居なくても出席はOKかと思つておりますが、その

ようになつております。

来週、委員長の皆さんにもお話しをいただくので、細かい行事の話はそこでしていただくということで、総括としては三役、それから大山さんも含め、皆さんに大変お世話になりました。

ということで、私の報告とさせていただきたいと思ひます。どうもありがとうございました。

クラブ運営委員会 佐藤 貴之委員長



皆さま、こんにちは。クラブ運営委員会の佐藤です。先ほど幹事からもありまされたとおり、本日の例会へ来てみたら「大委員長で喋るのは私しかいない」と。本来はもっといふと聞いていまされたけれども、今朝来ると、代読の文書が3つあつて、それを私が読んでほしいと聞きました。

残り時間も予定と違う10分以上の持ち時間がありますので、一生懸命やつていたらこのように話す機会を与えられるのだとつくづく感謝、申し訳ございません。申し訳ございません。

代読の文書は本来、幹事が読むと私は思つていまされたけれども、いまは幹事も副会長業務を兼務していらつしやいますので、私から代読させていただきます。

(クラブ広報・会員組織委員会及川雅順委員長の文書を代読)

1年間の活動を振り返つてみますと、私、本人は2回の入院などで思つたように活動はできませんでした。各委員会の委員長を中心に活動をしていただきました。

クラブ会報・雑誌委員会の小野正晴委員長は、今月で転勤になられましたが、各委員が自分の役目をこなし、ホームページの更新を迅速にできたと思ひます。

会員増強・選考・職業分類委員会は、吉田秀俊委員長の下、委員会を招集し、職業分類の細分化などを検討していただき、新入会員対象者を招いて例会を開催して会員人数も現状維持できました。

クラブ研修委員会は、天方智順委員長の下、上期と下期に『新入会員歓迎』を開催していただきました。また上期に「青少年奉仕について」、下期に「会員増強について」も『情報集会』を開催して、後に「情報集会報告例会」を開催して各班に発表をしていただきました。

最後になりますが、各委員長と委員・会長・幹事、そして川合隆俊副委員長には大変ご迷惑をかけ、ダメな委員長を補佐していただき感謝申し上げます。1年間、どうもありがとうございました。及川雅順。

以上でございます。

(奉仕プロジェクト委員会・吉田英一委員長の文書を代読)

皆さま、こんにちは。奉仕プロジェクト委員会の大会委員長を拝命しております吉田英一です。

当委員会は、青少年奉仕委員会・社会奉仕委員会・職業奉仕委員会・国際奉仕委員会の4つの委員会で構成されております。半年前に中間報告をさせていただいたので、長くは話しませんが、今年度の前半に例会を担当させていただいた岩田委員長が率いる社会奉仕委員会と曾我部委員長が率いる職業奉仕委員会、そしてコロナ禍で何もやる事が無いと思っていたら、台北クラブに送るビデオレターの制作を仕切ってくれた水口委員長が率いる国際奉仕委員会、そして何と言っても奉仕プロジェクト委員会の花形である、東堂委員長が率いる青少年奉仕委員会は年度が始まる前からテンポの良い動きで『野球大会』、そして『アイスホッケー大会』を何事もなく運営していただきました。

4委員長をはじめとする委員会の皆さまには、心から感謝申し上げます。開会式、そして試合を見に来ていただいた多くの会員の皆さまにも心から感謝申し上げます。

私自身としては、大会委員長としてたいしたことはできませんでしたが、組織の目的や意味や価値を共有すれば大きな力になれるのだ、と1年間をとおして学びました。

思想家の中村天風氏は、『一切の人生の果実は、その人が蒔いた種子のとおり表現してくる』と言われました。今年度に蒔いた種子を今後のロータリー活動にさらに生かして行くことをお誓い申し上げまして1年間の振り返とさせていただきます。

ありがとうございました。

吉田英一委員長です。

(ロータリー財団・奨学推進委員会米本富夫委員長の文書を代読)

はじめに、本日の例会に出席できなかったことをお詫び申し上げます。『1年を振り返って』ということですが、私はロータリー在籍14年目でお恥ずかしい話ですが、はじめての理事にご指名いただきました。この1年間は、私のロータリーライフの中で一番頑張った1年でした。

最初に、自分なりにロータリーの基礎を少しですが学ばせてもらいました。いま思えば、このような私を指名していただいた滝越会長は相当悩まれたのではないかと考えております。

理事者としてロータリーの活動を経験して最初に思い出すことは、4月に旭川で行われた『地区協議会』のことです。協議会はもちろんですが、旭川へ向かう車

中の楽しい会話や前日の『くしろナイト』での皆さんとの交流会など大変楽しく過ごさせていただきました。とてもよい思い出になりました。

7月に入り、いよいよスタートしたのですが、7月はあっという間に過ぎ去り、1日・1カ月がこんなにも早く経ってしまうということは初めてのことでした。また、織り返しの12月の『クリスマス家族会』も思い出でいっぱいです。恒例になっている余興での発表や練習など、理事者の皆さま方と楽しい時間を過ごさせていただきました。

理事に指名された最初は、とても不安で気分的に重く、1年間活動ができるか不安でいっぱいでしたが、本年度の私はロータリーに入会して一番充実した年でした。「まずはロータリーに入会しましょう。そして仲間作りをしましょう」と言われますが、実際に体験してみてそのとおりでした。また、理事未経験の方は積極的にぜひ参加をしていただければと考えております。とても楽しいロータリーライフを過ごせると思います。

最後になりますが、このような私を支えていただいた滝越会長をはじめ、理事の皆さま、またメンバーの皆さまに改めて感謝申し上げます。1年間、ご支援ご協力を本当にありがとうございました。米本富夫。

以上でございます。

最後に、私からの1年間の振り返りです。まずはクラブ運営委員長として活動をさせていただきました。ただ今月に入って、先週から突然「副幹事をやって」というご指名がきました。濱口副幹事が首のヘルニアで入院されておりまして、今月は退院されないという報告がきましたので、私は来週も副幹事を担当させていただきたいと考えております。

このタイミングで、このクラブ運営委員についてお話を伺いましたけれども、「SAAが会場にいない時は、クラブ運営委員が代理のSAAを行う」ことは今年度、何回か経験をさせていただきました。何となくこの三役が何名かいない時も格好が付かないということで「その場に座っていればいいよ」ということで、座らなければいけないということも認識はなんとなくしておりました。

ただ、いまこの状況で「滝越会長がお休みになられた場合は、会長挨拶・会長の時間は幹事が話すのではなく、クラブ運営の大委員長が話す」ということを先日、聞きました。当初はそのような話を全く聞いていなかったもので、人選は本当に大事だと。そこを知っていたのなら多分断っていたと思います。私ごときにそのようなことができる訳がないので。あと残り1回なので何とかこのまま頑張って務めさせていただきます。プログラム委員会に関しては、先週、担当の例会が終了して、村上委員長、小野寺副委員長、その他委員の

皆さま、本当に素晴らしい人選といろいろなプログラム運営をしていただきまして感謝しております。

出席委員会は、来週の最後の例会で「出席 100%」を表彰していただきます。

そして、親睦委員会ですが、昨日、最後の親睦委員会を開催して、来週についての打ち合わせを行いました。来週、親睦委員会の皆さまには最後の仕事をさせていただいて終わりということです。

横田委員長には年度の途中から「大委員長の佐藤さんは、もう今年を見ていない」と突っ込まれておりました。そのようなことはないので来週、私も協力させていただきたいと思っております。

そろそろ持ち時間がなくなってきましたので、今年度、本当にありがとうございました。皆さま、来週は欠席をどうしようか迷っている方がいらっしゃいましたら、ぜひ参加していただき、滝越会長最後の門出をお祝いしていただければと思っております。

それでは、今年度 1 年間、どうもありがとうございました。

本日のニコニコ献金

- 小野 正晴君 三年間大変お世話になりありがとうございます。釧路クラブの益々の発展を祈念しております。
- 荒井 剛君 小学 6 年の長女が所属する少年野球チームが全道大会に行くことになりました。また、女の子ですが釧路選抜に選ばれました。

今年度累計 425,000 円